

子どもたちが教えてくれること

Angerでは、最近、子どもたちの姿がぐっと変わってきています。中学2年生のKくんのことです。令和5年度の研修会で実践を報告した時の彼は、それからもどんどん姿が変わってきています。最近のAngerでは子どもの興味関心の幅が広がってきているので、集団の活動の時に何種類かの遊びをコーナー遊びの様に設定しています。そこで、小麦粉粘土をしていた日です。

彼は小学低学年の時、何かわからないもの（初めてのもの）に触るのが怖く、泣いたり怪訝な顔をしていました。スイートポテトを作るときに、ビニール袋に入れたさつまいもを手で潰すのが嫌で、おもちゃの木の金槌で叩いて潰していました。また、そら豆をみんなで鞘から出している時も、怪訝な顔をして、指先でそっと豆に触るのが精一杯でした。手先の過敏さや新しいものに触れる不安な姿から、私たち指導員の先入観で『スライムや小麦粉粘土は嫌い』と、決めつけているところがありました。もちろん、苦手でもその様な活動に毎回誘いますが、「しない」と決めた時は「わかったよ」と、無理に誘うことはありませんでした。

先日、小麦粉粘土で型押しをしている時のことです。「しない」と言われるとわかっていながら「Kくん、おいで」と呼びました。トコトコやってきた彼。「やる？」と差し出された小麦粉に触り始めました。意外と触れている事にびっくりしながらも、いきなりこねるのは嫌だろうと思い、まな板とナイフを渡しました。こちらが細長く伸ばした粘土を切ってみようかと提案するとそれにハマリ、「キコキコ」と言うこちらの声かけに合致するように何度も切っていました。しばらく切った後に、その切ったのを「まるまる」と、丸めて見せると彼も手のひらで丸めています。「お～！！そんなこともできるのか！？」と、長年勤務している指導員はびっくり！！それならと、時間がたっぷりある日にクッキーづくりに挑戦しました。すると見事にハマリ、生地作りから型押しまで、全ての工程をすることができました。私たち指導員の驚きをよそに、本人は「できますけど？何か？」と言う素知らぬ顔で作り上げました。こうなると、こちらも欲が出てきます。「白玉団子もできるんじゃない？」と。次は白玉団子に挑戦しました。小麦粉粘土と同じように細長くして渡すとナイフで切り、手で丸めました。さらにやってみようかと誘うと、沸騰したお湯に入れて茹で、浮いてきた白玉をすくうところまで全てやり切りました。「すごいや～ん！！」と指導員が驚いていると、Kくんも満更ではなく、フフンと笑っていました。あれだけ嫌がっていたことですが、安心できる指導員と一緒に【やってみよう】と挑戦できること、手のベトベトは洗えば大丈夫など、経験を積み重ねることやその子が興味を持てる時まで待つことも大切であって、特別な訓練や指導をしなくても、感覚もやりたい事も変化していくのだと教えてもらいました。彼と出会って8年目。どんどん変わっていく子どもの姿に、これからの変化も楽しみにしたいです。

郡 奈美



8年前



みんなに伝えたい性のおはなし

STEP UP クラス



今年度は土曜日クラスでステップアップクラスを行っています。発達年齢に応じて2グループに分け、それぞれの困りごとや必要な情報、知りたい事を行ってきました。1、2月に排便時のふき取りや、おしっこの仕方を学びました。

まず、お尻の穴の位置を確認します。服の上から目印になるシールを貼り、お互い場所があっているか見合っとして確認します。腰のあたりにシールを貼る子どももいて、見えない部位を確認する難しさを感じました。沐浴人形でお尻の穴を確認した後は、実際にお尻に見立てたもので拭く練習です。そこでも、トイレトペーパーの取り方から練習が必要な事がわかりました。もう1つのグループは中学生の参加者からの申し出で、セックスについて知りたいという事でした。セックスの絵本や性器模型を使って説明しました。あまりにも淡々と、科学的に説明したので「え？これだけ？」と拍子抜けしていた参加者でした。次回はどちらのグループも、もっと詳しく、丁寧に伝えていこうと考えています。

～評価表についてのお知らせ～

この度は評価表の回答にご協力いただきありがとうございました。結果を当法人ホームページに掲載しております。結果については法人内で話し合い、今後できる所は改善していきます。内容等も詳しく書いておりますので、是非ご一読ください。

HPのトップページ下からも評価表を見ることができます



防災カフェを開催しました！

2月17日（火）に防災カフェを開催しました。今回は、身近にある段ボールや緩衝材などを使い、簡易トイレとベッド作りに挑戦しました。ベッドチームには、避難所では1人あたりおよそ1畳ほどのスペースで生活することになることを伝え、その限られたスペースの中でベッドを作ってもらいました。段ボールの大きさや強度を考えながら組み合わせることで、大人が寝転んでも十分に耐えられる丈夫なベッドが完成しました。最初は恐る恐る寝転んでいましたが、起き上がるのが楽になることや、床から伝わる振動や冷気が軽減されることを実際に体感することができました。トイレチームは形を作ることはできたものの、立ったり座ったりする際の高さや、座ったときの不安定さ、座り心地などに課題がありました。そこで段ボールを重ねたり、緩衝材を巻いたりするなど工夫を重ね、より安定して座りやすいトイレへと改良していました。身近なものでも工夫やアイデア次第で作ることができることを学ぶ機会となりました。

また、毎年恒例の防災食づくりも行いました。今回は、トマトジュースやマツタケのお吸い物を使った2種類のパスタ、シーチキン入りオムレツ、アルフォート入り蒸しパンを作りました。どのメニューも「おいしい！」と参加者たちに好評でした。

いつ起こるか分からない災害に備え、身近な物を活用しながら工夫することや、楽しみながら防災について学ぶことの大切さを感じる時間となりました。

研修実施予定！申し込み受付中！

5/12(火)

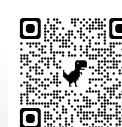
子どもの偏食の原因と対応と将来への影響 講師：藤井 葉子氏

(管理栄養士)

※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。オンデマンド配信はございません。

■場所：Anger（服部）又は zoom ■時間：AM10:00～ ■参加費：Anger 保護者500円・外部の方1000円/1名
■申し込み・お問合せ：TEL(06) 6151-2996 Mail: kori@tokuyo.me 担当：郡

↓ 申込み QR ↓



おねがい

4月からの送迎ルートと送迎時間変更について

・4月から曜日ごとの利用者様の変更に伴い送迎ルートも変更になります。
・**ご自宅へのお送り時間・お迎え時間とも、これまでと変わる可能性があります**のでご協力よろしくお願い致します。